

糖尿病予防に役立つ 皮下ブドウ糖測定器

担当医



久保 明先生

医学博士 糖尿病内分泌専門医
医療法人財団百葉の会 銀座医
院 院長補佐・抗加齢センター長

皮下ブドウ糖測定器^{*}を試して実感したFさんのケース

患者氏名	F・S様	年齢	43歳	性別	女性	現病歴
------	------	----	-----	----	----	-----

血糖値の自己管理をサポートする皮下ブドウ糖測定器をご存じでしょうか。上腕部に小さなパッドを装着するだけで、15分ごとに数値の変動が確認できる医療機器です。最近では薬剤師のいるドラッグストアなどでも取り扱っています。

薬剤師のFさんが勤めるドラッグストアでも、この機器を販売することになりました。ご自身は血糖値が高いわけではありませんが、販売責任者として使用方法や使用感などを確認しておくためです。

使用を始めたあとと、きのこと。通常100mg/dLほどの空腹時血糖値が130mg/dLに跳ね上がってしまったそうです。Fさんは血縁者に糖尿病の方はおらず、肥満もありません。ただその頃、仕事でストレスを感じることが多かったとのこと。「ストレスがこれほど血糖値に影響するとは」と驚いておられました。

個人差はありますが、ストレスによって血糖値はゆうに20%は上がるともいわれています。問題は上がった血糖値が、どれくらいで治まるか

なのですが、もちろん血糖値が上がる原因は人によってさまざまです。不規則な生活や食生活の乱れが原因のこともあるでしょう。そうした意味から、この皮下ブドウ糖測定器は、自分がどのようなときに血糖値が上がったりやすいのかを把握して、生活習慣の見直しにつなげることができる機器といえます。

血糖値が気になる方は、糖尿病予防の一助として利用されてはいかがでしょうか。

^{*}FGM (flash glucose monitoring) と呼ばれています